

# ヒューマンケア学部 柔道整復学科

## 教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。また、大学全体として、全学部生が共通して履修する必修科目、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」においては、少人数教育を実践しています。セミナー担当教員は、各学部・学科・コースのCPに基づく学修指導の他、学生生活全般にわたる指導を行っています。これにより学生は、社会人として求められる常識や教養等の汎用的能力と、各自の専攻分野や関心領域に関わる幅広い知識をバランス良く身につけることができます。この「セミナー」は、キャリア教育の一環として、学生の様々な相談にも応じています。

### 【教育方法】

基礎教育として、幅広い教養科目と基礎医学科目を配置し、人間性と科学性を兼ね備えた柔道整復師を養成するための授業を展開しています。実践教育として臨床実習を行い、患者との関わりを通して得られる実践的な施術技術が習得できるように配慮しています。また、柔道整復の治療手技について検査機器等を導入し評価することで、施術の科学的な裏付けや根拠を追及しています。

### 【教育の特色ある工夫】

- ・柔道整復師を育成する学科として医療の知識と技術を養うとともに、患者の信頼を得るための人格と教養を身につけることを目的としています。
- ・1、2年次に開講する「フレッシュセミナー」においては少人数クラスの特徴を活かし「考える」「理解する」「表現する」「体験する」ことを目標とし、レポート作成やプレゼンテーション、ボランティア等の社会貢献活動など様々な課題を設定しています。
- ・3、4年次に開講する「アドバンスセミナー」においては研究活動等を通して、新しい課題の発見やそれに立ち向かう強い精神を養うことを目標とし、卒業後の将来の自分や未来の医療のあり方などを考えます。
- ・また、1年次でより「基礎臨床実習Ⅰ」が開講され4年次まで付属接骨院における臨床実習を行い、患者の応対や施術の実際を学ぶとともに柔道整復師としての倫理観を養います。
- ・この様に全学年を通じて柔道整復師のみならず社会人としての資質を修得するよう指導しています。